大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議 意見書

平成30年5月

大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議

目 次

1. 大山崎町立中央公民館等の施設整備にむけて	1
2. 施設単独建替えについての意見	3
3. 長寿命化改修についての意見	3
4. 複合化についての意見	4
5. [参考] 各整備方策を実施する場合などの提案等	7
(1) 長寿命化改修を実施する場合の提案等	
(2) 複合化を実施する場合の提案等	
(3) 公共施設のあり方等に関する意見	
参考：大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議設置要綱	16
参考：大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議 委員名簿	18
参考：大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議 会議経過	19

1. 大山崎町立中央公民館等の施設整備にむけて

私たちは、大山崎町立中央公民館等の施設整備の方策について、4回にわたる会議で検討を行って参りました。

検討にあたっては、議論のための参考として、「施設単独建替え」「長寿命化改修」「複合化」の案が事務局から示されました。特に複合化については、同じく議論の参考とするために、A～D案が示されました。

検討会議で出された意見を振り返ってみますと、委員からの他の提案も含めて議論したところ、「複合化」のご意見が多くみられました。各参考案への意見や委員からの提案の詳細については、項目2以降に示したとおりです。ここでは、委員の意見の傾向の概要を、概括的に述べます。

「施設単独建替え」について議論が進むということはありませんでした。

「長寿命化改修」については、複数の方から支持する意見がありました。現在の議論の対象となっている施設の多くは、長寿命化改修によって使い続けることができるのではないか、あわせて、補修や施設修繕がこれまで十分になされていなかったのではないかとという指摘がありました。

また、検討を始めるための前提とするべき、大山崎町の現状の施設についての現状把握、基本データが少なく、その中で施設整備の議論をするのは困難、という指摘がありました。

「複合化」については、多くの方が賛意を示されました。ただし、消極的・条件付き賛意から、積極的に推進するという意見まで幅がありました。

公民館や図書館の社会教育の機能、老人福祉の機能、健康増進の機能、子育て支援の機能、ホールの機能、保健センターの機能、異世代・多世代交流の機能、防災機能など、求められる施設機能についても議論しました。傾向としては、現在あるニーズ、将来的なニーズ、潜在的なニーズ（＝利用していない人のニーズ）をよく検討して、各機能の意義を確認した上での取捨選択が必要である、との意見でした。

各機能についての意見を概観すると、まず保育所の機能については、複合化に慎重ないし反対の意見が複数ありました。また、保育所を複合化するには専門家の知見が必要、との意見がありました。保健センターの機能についても同様に、複合化は保健衛生面での専門的知見をふまえた慎重な検討が必要、との意見がありました。

社会教育や生涯学習に関わる機能の中で、図書館機能については、他自治体の図書館利用の可能性を模索すべき、という意見と、文化の振興や記録保存のために町として設置すべきだ、という2つの意見がありました。公民館機能については、現在の利用者からの意見として、充実・強化の意見がありました。特に公民館のホール機能の維持・充実は、学習成果の発表や中・小規模の集会交流、文化芸術振興など場の確保のため、必要性が指摘されました。

老人福祉機能についても同様に、充実・強化を求める現利用者からの意見があり、高齢

者の憩いの場の確保を求める声がありました。また、高齢者と若い世代との間で交流が図られる多世代交流機能を有した施設になってほしい、という希望もありました。

また、現在十分備えていない機能として、子どもや青年・若者が利用しやすい機能が、多世代交流機能とあわせて必要、との意見もありました。ほかに、現在及び将来の社会・生活スタイルに合った、町民の健康増進のための設備や機能、子育て支援の機能、あるいは施設での集会交流をうながす喫茶・軽食スペースなどが求められていることも指摘されました。

魅力ある大山崎町の価値を積極的に創出する上で、こうした現代社会の状況をふまえた機能が必要ではないか、というアイデアが示されたことは、既存機能の枠を越えた施設整備の検討課題が示されたといえます。

また、建築技術的な助言や、コストや経営的観点から施設の維持管理運営の助言も委員からいただきました。災害時に避難所などで町民を守るための防災機能の確保・充実の指摘は、このたびの検討の場が施設老朽化に端を発していることに鑑みて、大事な助言であったと思います。

こうした諸機能の検討を通じて見えてきたことは、施設整備方策が「複合化」の場合でも、ほかの方策を採る場合でも、機能の取捨選択や統合、連携による相乗効果の期待から、新たな機能の追加や、一機能の独立施設の確保の重要性まで、さまざまな意見が委員の間にあったということです。

今後、施設整備の方策を検討する際には、各機能の意義やあり方、現状と課題について、さらに慎重かつ十分に検討することが必要であると考えます。

私たちの議論の過程で、町の財政基盤の現状に鑑みて、将来的な町民への負担を十分に考慮してほしいという意見が、複数の委員から幾度かありました。本会議では、町財政の状況及び財源確保等を検討要素に加えずに検討を行いました。施設整備にあたって、慎重に考慮が必要であることは言うまでもありません。

限られた財源のもとで、住民福祉の一層の向上に資する施設整備には多くの困難がありますが、以上のさまざまな意見・助言を十分にふまえ、大山崎町立中央公民館等の施設整備の方策をまとめていくことを望みます。

大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議 会長 田所 祐史

2. 施設単独建替えについての意見

- 過去の豊かな税収があった時代での乙訓二市と同じような施設整備は困難であり、大幅な削減が必要である。施設数を減らすか、各施設の規模（敷地面積、延床面積）を減らす必要があり、現施設の同じ場所での建替えはすべきではない。

3. 長寿命化改修についての意見

- 複合化は財源の問題があるため、現存する各施設の長寿命化や改修して使用することに賛成である。
- 理想は複合化であるが、現状（まだ使える施設を壊すこと。負債を抱えること。改修内容による費用。）を見据えた場合、長寿命化改修を考えるべきであると考えている。
- 複合化の地方債の関係から、平成33年度までに進めることになること、まだ十分に使える公民館の別館を壊して新しく建てることになることから、長寿命化改修で考えていただきたい。
- 複合化の地方債の要件には、施設の延床面積を減少させることが要件となっている。減少させることよりも、改修工事で今の規模の中央公民館のホールが必要と考える。
- 保育所の耐用年数はまだあるので、複合化ではなく、長寿命化が良いのでは。
- 自動車道のトンネルの崩落がきっかけで、国において長寿命化の話が出てきたように思う。当初のインフラの長寿命化で大山崎町も進んでいくべきだ。
- 学校施設は長寿命化を進めるとなっているので、中央公民館などの社会教育施設も同じく長寿命化を進めるべきでは。
- 各施設の耐震階級、老朽化の具合を国の基準だけではなく、個別施設について丁寧に詳細に確認することが第一であると考えている。中央公民館のように既に危険性などが明らかで、利便性を損ねている施設については急ぎで進めていくべきである。そういったことから、中央公民館の建替え、複合化についてはやむを得ないと考える。ただし、理想は長寿命化であると考えている。（「複合化について」に再掲）
- 各施設はその時代の必要性に応じて造られている。それを今の時代に応じた整備が必要となる。法律も変わり、環境への捉え方も変わってきている。そういったものを取り込んだ長寿命化はコストがかかる。時代が変わり、新たな課題が出てくることもある。そういったことから複合化に行き着くのではと考える。（「複合化について」に再掲）

4. 複合化についての意見

- 今後50年、80年先を見据えた場合、今の時期に動くべきであり、複合化がよいと思う。建替え案と複合化案の概算費用を見ても、複合化案が建替え案の2倍、3倍の費用が必要というわけではない。できるだけ費用を抑えた複合化がよいと考える。
- 複合化がよいと思う。ただ、複合化が実現しても、使用料や維持管理費の関係で問題が発生してくるだろうと考える。そのため、これらに対する対応も考えておくべきである。
- 各施設はその時代の必要性に応じて造られている。それを今の時代に応じた整備が必要となる。法律も変わり、環境への捉え方も変わってきている。そういったものを取り込んだ長寿命化はコストがかかる。時代が変わり、新たな課題が出てくることもある。そういったことから複合化に行き着くのではと考える。(「長寿命化改修について」に再掲)
- 下記の理由により複合化を推薦する。
 - ・着眼点（重視した観点）
 - ①シビックゾーンにふさわしいまちづくり、賑わいづくりに合致するか。
 - ②町民の安心・安全に資するか。
 - ③将来的な町財政への影響。
 - ・複合化対象施設（機能）
 - 中央公民館（本館・別館）：生涯学習機能、図書館機能
 - 老人福祉センター（長寿苑）：老人福祉施設機能
 - 保健センター：保健センター機能、子育て支援・児童館施設機能
 - ・複合化を推す理由
(機能面)
 - ①「生涯学習」、「図書」、「老人福祉」、「健康増進」、「子育て支援」は相互に関連が深く親和性があり、機能連携することで様々な町民の交流を生み出し、賑わいを創出することが可能。
 - ②複合化により1棟の施設規模が大きくなることで、免震・減震工法の選択肢が増え、また、想定浸水深2.8mを超える床の確保が大きくなること。
 - ③施設管理部分や共用部分を一元化することで、有効床面積割合を増やしたり、動線を短くすることが可能。
 - ④複合化＝集約化することで空いた土地について、町民が求める他用途に活用することが可能。
 - (経費面)
 - ⑤複合化＝合築することで、建設費のコストダウンが可能
 - ⑥維持管理や運営に係る経費（光熱水費、人件費等）の節減が可能
 - ⑦空いた土地や合築部分の床の一部を民間事業者に賃貸することで、町民の利便性向上に役立てることが可能になるとともに、賃貸料を維持管理・運営費の一部に充てることが可能

- 下記の条件付で複合化のC案に賛成である。
 - ・過去の豊かな税収があった時代での乙訓二市と同じような施設整備は困難であり、大幅な削減が必要。そのため、建設費だけでなく維持管理費も考えると、小さな町に見合った施設、規模で複合化すべきである。
 - ・検討計画の複合施設B案及びD案の保育所機能について、他市の事例では、公立保育所で小学校の敷地に併設しているところがあるが、建物・園庭は独立している。また、複合建物に入っている保育所は民間の小規模保育所である。他の委員からも保育所は複合化に向かないとの意見もあり、不相当と考えられる。
 - ・検討計画のA案及びC案について、出入口、ロビーなどの一本化や会議室などの共有化などの効率化を考えると、多くの施設を複合化するC案が適切であると考え。なお、図書機能については、子育て支援施設機能に含めた児童図書館など、再検討が必要である。
- 町民アンケートの結果も考えて、施設を縮小していく方がこの町にとってよいのではと考える。町の将来を見据えて、複合施設が理想ではないかと考えており、検討計画のC案がよいのではと考える。
- 複合化そのものについては賛成である。検討計画の4つの案では、ホールと長寿苑部分はもう少しスペースが必要である。
- 現在の中央公民館は、部屋によっては、床や壁、手洗い場の状態が悪く、建替えた方がよいと考えることから、複合施設に賛成である。なお、老朽化の中央公民館だけを建替えるのではなく、長寿苑や保健センターも一緒にした方がよいと考える。そういったことから、複合施設はやむを得ないのではと考える。
- 今のホールは残して、その他を複合化するというのも考えられないのかと思う。
(「中央公民館のホール機能について」に再掲)
- 各施設の耐震階級、老朽化の具合を国の基準だけではなく、個別施設について丁寧に詳細に確認することが第一であると考え。中央公民館のように、既に危険性などが明らかで、利便性を損ねている施設については急いで進めていくべきである。そういったことから、中央公民館の建替え、複合化についてはやむを得ないと考える。ただし、理想は長寿命化であると考え。(「長寿命化改修について」に再掲)
- 複合化によって、機能の縮小化は行わないことが大事であると考え。人口が減っていても「機能」は縮小するべきものではない。人の命や人権などが人口規模、自治体の規模で大小があるわけではない。機能の維持、向上を進めるべきである。各施設が出来上がった経緯を鑑みれば、各施設が独立しているのが理想であり、それを目指すべきである。その考え方に立って、複合化を行うべきである。各機能の独立性は、ある程度確保していただきたい。
- 複合化は賛成だが、ただし、財源問題や返済能力などをよく考え、実現が可能かどうかである。
- 下記の理由により複合化すべきではない。
 - ・過去の豊かな税収があった時代での乙訓二市と同じような施設整備は困難であり、大幅な削減が必要。そのため、各施設の規模を減らすことが必要。
 - ・下水道管などの土木施設はコンクリートが主で、その強度の確保が主となることか

ら補強が比較的安易であり、工事中の既存機能の保持や住民への迷惑を考えると、長寿命化が適している。一方、建築物は建物の強度だけではなく、空調設備などの更新や使い勝手の見直し、新たな機能の追加（バリアフリー化、省エネなど）があり、建替えの方が適していると思われる。

- ・現在の規模で改修した場合、床面積が大きいため、維持管理費が高額となる。維持管理費は受益者負担の原則から、できる限り使用料収入で賄うこととなるが、本町の人口から高い稼働率は見込めず、使用料収入は期待できない。

○複合化に反対しているのではなく、財源の問題があるため、実現の可能性として検討計画のA案からD案についてはいかながなものかと考える。

5.〔参考〕各整備方策を実施する場合などの提案等

(1) 長寿命化改修を実施する場合の提案等

- 長寿命化で考えた場合、示されている国の数字をそのまま使うのは無理があると思うので、現状に即したものを計画し、示していただく方がわかりやすい。
- 長寿命化を行う場合は、すでに建物があるので、しっかりと調査して計画して進めるべきである。
- 耐震対策やトイレの洋式化を行うべき。
- エレベーターの設置など、障がい者に配慮した施設整備を進めていただきたい。
- 長寿命化するのであれば、今のホール規模で良いと思う。建替えるなら、今の規模程度の広さは必要だと考える。ホールにはステージが必要である。（「複合化を実施する場合の提案」に再掲）
- 昭和56年に建築基準法が改正され、大規模地震を想定した構造基準で計算をするように変わっている。鉄筋コンクリート造では柱の中に柱の主筋を拘束するフープというものがあるが、昔は30センチ程度の間隔で良かったが、耐震基準が新たに変わり10センチ間隔に狭くなった。鉄筋の本数も大規模地震に耐えられるように多くなった。その後も、平成12年と平成19年に、建築基準法の構造基準は大規模地震が起きる度に改正されている。そういう点で、新築した場合は、現在の構造基準による大地震に対応した建物となり、新しい技術も取り入れられる。一方、これを構造補強しようとする、補強する目標値をどこに設定するのかということがある。民間建築物の場合、耐震指標（IS値）の判定基準が0.6より低い場合は、改修後のIS値を0.6以上に上げることになるが、避難所となる公共建築物の場合、重要度係数というものがあり、IS値を通常の1.25倍に上げるようにされている。国の重要な施設になるとそれが1.5倍となる。そのため、IS値0.75以上となる建物の耐震改修を行うこととなり、内部の利用に制約がかかってしまうような構造補強になるのではないかと考える。非構造部材のホールの天井も地震時に剥落しないように改修する必要があるなど、現状のまま残すとなったとしても、改修内容については詳細な検討が必要となり、費用の面でもかなりかかってくるのが考えられる。

(2) 複合化を実施する場合の提案等

<p>①図書機能について</p>	<ul style="list-style-type: none">○他の自治体では午後 8 時まで開いている図書館もあり、図書館は遅い時間まで空いていないと利用が不便である。○交通の便が良い隣市の図書館を利用するなどの現在の図書室の利用状況も考えると、図書機能が無くてもよいのではと思う。○インターネットで他の図書館から取り寄せができるのであれば、公民館の図書室スペースはそんなに必要ないのでは。○図書館が必要無いとは思わない。町の図書室は、どれだけの人が利用され、どれだけの本が貸し出されているか、町がどれだけ真剣に考えているかが問題であると思う。大山崎町の図書室に行つてがっかりするのは、本がないことである。○図書室に行つても借りたい本がなく、隣市の図書館に行くということになってしまう。蔵書の本の種類をインターネット上に載せて、図書室にはこんな本があるということを行く前に調べられるシステムにすることで、人が多く来ることになるのでは。どれだけたくさんの人に利用してもらうのかを真剣に考える必要がある。現在の状況では必要性が非常に少ないと考える。○たとえ図書機能のスペースが少なくても、「移動図書館もあり、大山崎町の図書館は町民にどんどん本や情報を提供している、おはなし会などを行っている」という図書館になればと考える。○大山崎町の図書室を利用してありがたいと感じたのは、リクエストをすれば(タイトルさえわかれば)京都府内の他の図書館から本を取り寄せてくれる。昔と比べて使い勝手が良くなったと思う。○大山崎町の図書室の本は少ないと思う。今の場所と予算を考えると、改善は難しいのでは。本を購入しても置く場所がない。図書室についてはここを解決する必要がある。○中央公民館の図書室に来るためのアクセス手段がなく、利用したくても行けないのが現実であると思う。図書室に行くための利便性をいかに図るか(公共交通機関をいかに張り巡らせるか)が問題で、そこを解決できれば利用が増えるのでは。○図書館機能は、この土地に生きて暮らしてきている人たちの骨格を作る大事なものであると考える。そのため、町が図書機能を他の自治体に頼るということはよくないのでは。
------------------	---

	<p>○今回の複合化を機会に、図書機能は、「図書室」ではなく、「図書館」として、図書館法に基づいた機能を持ってほしい。ただし、隣町に行ったら利用できるものも全て揃えるということではなく、町民ニーズや各年齢層のニーズに合ったものなど、ある程度、どこか強い分野を持った、特徴のある図書館でもよいのではと考える。また、各サークルや学校などさまざまな活動の記録などを残し、後世の人たちにバトンタッチしていく、保存していくという機能も図書館にはある。スポーツ団体等の「30年の歩み」といった記録なども大事な本で、町中探してもないが図書館には保存されている、ということも後々生きてくる。そういう意味でも図書館機能を入れておくべきではと考える。</p> <p>○複合施設となり、今の図書室が大きくなれば良いものができるのでは。</p>
<p>②中央公民館のホール機能について</p>	<p>○ホールについては、大きく分けて、コンサートなどが行えるコンサートホールとさまざまなことに利用できる多目的ホールがあると思う。コンサートホールは、良い音楽を聴くとなれば音響設備などで高額となる。身の丈にあった形ということで、懇親会などもできる多目的ホールがよい。なお、多目的ホールも、何人の収容人員を目標にしたホールにするのかによって大きさは変わってくる。</p> <p>○現在の中央公民館のホールは、ダンスや太鼓、70～80人集まる総会などで利用されている。今のホールでは机や椅子を出すことが高齢者にとって不便であることが問題である。</p> <p>○長寿命化するのであれば、今のホール規模で良いと思う。建替えるなら、今の規模程度の広さは必要だと考える。ホールにはステージが必要である。</p> <p>○現在利用しているサークル活動などを考えて、ホールの規模は、今のホールよりも小さくならないようにしてほしい。</p> <p>○ホールの舞台については、移動式か固定式か考える必要がある。ホールは、練習の場であり、発表の場でもある。イベントをする際、仮設舞台の場合はどん帳がないと意気込みが違ってくる。</p> <p>○検討案でみると、複合施設に入れるホールは大きい方が良いと考える。また、「ゆめほっぺ」といった箱物をつくるのではなく、子どもを中心として、誰もが自由に入れるような施設に賛成である。</p> <p>○今のホールは残して、その他を複合化するということも考え</p>

	<p>られないのかと思う。</p> <p>○事例を見て公共施設として何が大事なのか、設備の検討も必要であると思う。</p>
③老人福祉施設機能について	<p>○複合施設のイメージ図の長寿苑の部分を見ると、スペースが少ないように思う。これから高齢者が増えるのに、将来的にこれでは足りなくなるのでは。</p> <p>○長寿苑の各部屋はサークルが利用している状況であり、勉強室やおしゃべり室など、行けばコーヒーを飲みながら情報交換ができ、行ったら楽しめる、心が安らげるといった施設にしていく必要があると思う。</p> <p>○老人サークルがもっと若い人と関わるのはよいと思う。老人の居場所づくりが必要だと思う。風呂が壊れているが、直せずギリギリの運営をされているのかと思う。</p> <p>○近隣市の小学校の横に老人福祉施設があり、卓球等を一緒にしている。本町では、玉突きサークルで週1回小学生に教えているが、そのような交流ができればよい。</p> <p>○多世代交流の場合は公民館でもよいと思う。</p> <p>○長寿苑の現状から言うと、利用者は頭打ちになっている。「老人」という名前が嫌だと言われ、出入りするのが嫌で敬遠されているということもあると思う。</p>
④保健センター機能について	<p>○保健センター機能については、プライベート的な要素があるため、複合施設内でも独立させた方がよいのでは。</p> <p>○複合施設内の動線として、駐車場からの動線も含めて、保健センター機能と他の機能は分けるべきでは。</p> <p>○保健センターの一般的な事業を考えると、プライバシーの保持や、空調の温度の管理や電源、入口の動線、駐車場からのアクセスの距離、バリアフリーの問題など、色々なことが求められて今の保健センターが建設されたと思う。これを複合化するときは、保健センターの機能を失わないよう、非常に丁寧な検討が必要である。保健センターの職員や専門家の職員の意見を聞いて決めていくべきものであると考える。</p>
⑤子育て支援機能について	<p>○今の母親は多忙であり、施設をつくって人を呼ぶというのは、時代的に難しいのではと思う。</p> <p>○土日の未就園児のサークル活動では、お子さんとお母さんと最近はお父さんも参加があり、サロンを開いたり、他府県の方が来られてお母さんの友達ができたりする。未就学児と小</p>

	<p>学生は状況が異なるため、公民館が開いていると子どもたちも参加しやすく、多世代交流もしやすいと思う。</p> <p>○子育てに悩んで困っている方がおられたら、保健センターなどで対応できる体制をつくる必要があると思う。今は貸館的な利用の仕方であるが、フリースペース的なものがあれば誰でもいつでも参加できてよいと思う。</p>
<p>⑥保育所機能について</p>	<p>○他施設でも混在されるのは嫌がられることが多い。</p> <p>○以下の点から、保育所機能は複合施設に含めるべきではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車を利用する保育所の利用者からみると、保育所は近くにある方がよい。 ・各地域に施設がある意味について、大山崎町の現実に即して再検討が必要。 ・今の規模だと一人ひとりの顔が見える規模だが、第1と第3保育所を一つにすると、200名を超える保育所になってしまう。詰め込み過ぎになるのでは。 ・多世代交流はよいと思うが、大規模な保育所施設とするのではなく、保育所は個別で考えることが理想であると考える。 ・性質の異なる施設であることから、保育所機能をシビックゾーンの中に組み込むべきではない。 ・保育所は専門家が個別に検討していくべき施設であると考える。 ・保育所が入っている検討案においては、保育所スペースの部分をホールや長寿苑機能、貸館の機能スペースとすれば、複合化案としてはよいのではと考える。 ・保育所を複合施設に含めることにより、乳幼児の自然な生活ができないのでは。乳幼児が昼寝をしている時に公民館利用者の声が聞こえたり、逆に、園児たちの声が公民館に聞こえてくるなどという状況がよくないのでは。 <p>*賛成の意見はありませんでした。</p>
<p>⑦多世代交流について</p>	<p>○他市町で、高齢者が地域の子どもたちの見守りを行うスペースを施設内に設ける事例があった。検討計画にあるように、多世代交流の視点からの検討も必要では。</p> <p>○長寿苑の各サークルでは小学生への将棋教室やビリヤード教室を行っており、設備があれば多世代交流を進められるの</p>

	<p>ではと思う。また、イベントにおいても多世代交流を図るために小学生に盆踊りを教えていくといった動きもあり、より前に進める可能性があるのではと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○複合化する際には、既存の施設の中で活躍されている町民の方や現場職員の意見を聞くべきである。各施設でやりたかったけどできなかった事業や、現在、他の世代と交流を行っている事業などを出し合うことが必要である。 ○公民館サークルでは学校との交流はないが、個々のサークル活動の中では学校や福祉施設慰問等に出向いたりすることがある。
<p>⑧ 防災面での視点について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ホール利用についても平時と災害時の利用があると思う。複合施設とする場合には、災害時のホールの活用も計画の中で盛り込んでいく必要があるのでは。 ○公民館には和室もあり、多機能の面を持っている。膝が痛いので座りづらいから和室は要らないとするのではなく、伝統文化の継承として日本舞踊での利用や、防災面においても非常時に和室を利用することになる。 ○他自治体の公民館には、非常時を想定してシャワー室を設けたり、防災倉庫を館内に設置している公民館もある。外からも扉を開けることができ、トラックから物の出し入れがすぐにできる。そういった非常時の動線を優先に考えている事例もある。
<p>⑨ 複合施設に含めるべき既存施設にない新たな機能について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館は、誰でもが自由に出入りでき、小学生、中学生や高校生も利用できるような憩いの場所であってほしい。そういったコーナーがあればよいと思う。 ○皆が集まる憩いの場所として、カフェやランチができる場所が必要。なお、その経営については、民間への賃貸や福祉機能（就労の場の提供）といった方法があるが、町民の利便性の向上や賃貸料を施設運営費へ充てるという財政面での視点についても検討すべきである。 ○他の市町には類を見ないほど、町内部から、町外部からの恵まれた地域資源となりうる交通の利便性を100%生かした機能を持つ施設整備も機会と捉える必要がある。例えば、配送・輸送の拠点やICTの推進など。 ○希望的な話をすると、お年寄りの一番の希望は健康でありたいことだと思う。健康増進施設に通われている方が非常に多い。ひいては医療費も安くなり、よいと思うが、施設として

	<p>優先すべきかどうかは迷うところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育館はトレーニングする施設であり、老人には厳しい。公民館にウォーキングする施設があるとよい。 ○そもそも面積を削減するのが条件になっている。そういったことにとらわれなくて計画できるのであれば、機能を充実できてよいと思う。
<p>⑩複合化する機能検討の際に留意すべき点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○複合施設には弱者が集まることになることから、病気などが施設内で広まることが懸念される。 ○複合化し、子育て支援機能を含めるのであれば、エレベーターの設置やベビーカーを置く場所が必要である。自転車置き場などはあるが、ベビーカーを置く場所がなく不便に感じている方がおられる。バリアフリー化にして、スッと入って、サッと置いて施設を利用できる、ということになればもっと利用者が増えると思う。 ○環境的なセキュリティの部分で、施設内の動線をどこかで区画する必要があると考える。不特定多数の利用がある場合、バリアフリー法に基づき、利用者の円滑な行動や誘導といった点も含めて、入口を明確化するということがある。また、利用者の特性に合わせた区画や複数の出入り口を設けるといことも計画として重要であると考えます。 ○複合化だけではなく長寿命化改修の場合も同じことが言えるが、駐車場からのアクセスとして、中央公民館裏の駐車場は施設との段差があるため、そのアクセスの課題がある。中央公民館の道路を挟んだ向かいに駐車場を設けた場合も、そこからのアクセスをどうするのかという問題もある。 ○複合施設に公民館、長寿苑、保健センターを含めた場合、人の流れをどうするのかという部分は改めて考える必要があるのでは。 ○稼働率が評価されることが多いが、少人数が打ち合わせなどで利用しやすい部屋など、これからの活動に合わせた機能が必要であると考えます。 ○公共交通が不便なため、車利用が重要になると思う。交通アクセスがないと施設利用者は遠のく。既存施設でそういったことに対応するのは困難であると考えます。そういった観点から、施設を集約し、駐車場機能を設けることが必要であると考えます。検討計画の複合化案にはそういった観点が含まれている。 ○今の公共施設に求められているのは、利用者の視点に立った利活用を検討していくことが重要である。そのため、既存施

	<p>設を複合化する場合は、現在の施設利用者の意見も取り入れて進めていくべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ロビーを設けて交流をすればよいというだけのものではなく、各機能の連携を行う発想を取り入れていただきたい。 ○住民利用者、現場職員、各機能の専門家の意見を必ず入れてほしい。 ○一つの施設に交流拠点を集約するのではなく、今活動している地域のサークル活動もあってよい。 ○アンケート結果の数字について確認が必要であると思う。現状の施設を利用したことがないというのが多い。また、利用者は施設に不満があり、ニーズにあっていないのではないかと思う。
<p>⑪ 上記以外の意見について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○シビックゾーンに賑わいをとっているが、現在、役場周辺に賑わいはない。長寿苑や中央公民館、「ゆめほっぺ」に行くのに車を利用するなど困難をきたしてきている。シビックゾーンに人を運ぶための動脈がない。このシビックゾーンに賑わいを創るためには、循環バスなどを考えないと、役場周辺地区はシビックゾーンにはならないのでは。 ○公民館に小学校高学年から中学生が公民館に集まれる場所を設けることについては、学校の時間を延長し、指導者のもとで子どもたちが学校で学べるシステムにすべきであり、公民館の中には含めないほうがよいと思う。 ○子どもたちが学校にいる時間を長くし、何でも学校にということにならないように、むしろ、社会教育の場に子どもたちが入りやすくする、公民館に入りやすくする方が地域住民と出会う機会も多くなるのでは。 ○現在の長寿苑は平屋建てで、中庭の部分は光が差し、素敵な建物だと思う。しかし、複合施設に含めることにより、この良さが消えてしまうのでは。

(3) 公共施設のあり方等に関する意見

- 住民のニーズに合った施設整備や将来の人口を考え、新しい住民を呼び込むための施設づくりの観点で、その施設を活かしていくためのコーディネーターの必要性を考える必要がある。
- 町がこれまで行ってきた既存施設の維持管理などのメンテナンスには、ほとんど費用をかけてきていない。検討計画には、今後、多額の費用がかかるとの試算が出ているが、これまで町が施設にかけてきた費用はこれほどかかっていない。
- 長寿苑などのクラックや雨漏り、耐震性の問題があるが、なぜすぐに処置をしなかったのか。細かく処置し、維持管理を行えば費用は安く済むのでは。
- メンテナンスの技術も進歩してきており、町でも研究すべきである。
- 基本は建物の現況調査・把握をして整備を進めていくものであり、今回は、そこを置いて話が進んでいると思う。
- 現況調査を実施するには調査だけでかなりの費用もかかり、担当者も必要である。同じことを小さな町でやろうとすると、時間と手間がかかり、建築に長けた職員も必要である。一般的な数字で示すのは致し方ないのではと思う。
- 建築職員はスポット的な業務に就くことが多く、公共施設の維持管理、マネジメントに手が回っていない状況である。これまでの修繕にかけてきた費用を示していたが、適正に管理するには無理な予算である。緊急を要する範囲にしか予算が回っていなかったつけが、今、回ってきているのではないか。行政全般として、壊れてから、止まってからの対応となっている傾向が現にある。小さな町でマンパワーを入れてやっていくのは無理があるのではと思う。
- 日ごろからのメンテナンスをどう考えていくのかということも、今後考えていかななくてはいけないと思う。
- 高齢者に対する設備の充実が必要であると思う。
- 町内の交通体系の整備についても、公共施設あり方と関連付けて考えていく必要があるのでは。
- 図書室や長寿苑などはもっと良いものにできるはず。町に欠けているのはヒューマンパワーであると考えている。
- 今回の会議はチャンスであると感じた。それは、住民が住んでいて良かったと思え、また、町外の人が大山崎町に住みたいと思えるようなまちづくりを進めるチャンスだと感じ、今回のことを進めていただきたい。

大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議設置要綱

(設置)

第1条 大山崎町立中央公民館、大山崎町立老人福祉センター長寿苑その他周辺施設（以下「中央公民館等」という。）の施設整備の方策について、広く意見を聞き、また、助言を求める場として大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議（以下「会議」という。）を設置する。

(意見等を聞く事項)

第2条 会議で広く意見を聞き、また、助言を求める事項は、次のとおりとする。

- (1) 中央公民館等の施設整備の方策の検討に関すること
- (2) 前号に掲げるもののほか、公共施設のあり方に関し検討するべきこと

(組織)

第3条 会議は、12名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 中央公民館等施設関係団体代表者
- (3) 公募による者
- (4) その他町長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から平成30年3月31日までとする。ただし、町長が必要と認めるときは任期を延長することができる。

(会長)

第5条 会長は、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会議を代表し、会務を総理する。
- 3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、会長が招集し、その議長となる。ただし、最初の会議は、町長が招集する。

- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議は、原則として公開とする。ただし、会長が必要と認めた場合は、非公開とすることができる。
- 4 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(報償)

第7条 町長は、委員が会議に出席したときは、予算の範囲内において報償を支給することができる。前条第4項に規定する委員以外の者が出席したときも、同様とする。

(庶務)

第8条 会議の庶務は、総務部政策総務課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年12月26日から施行する。

大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議 委員名簿

	氏 名	所属等
会長	田所 祐史	京都府立大学 公共政策学部 准教授
職務代理	中田 貞之	元行政職員 大山崎町都市計画審議会会長職務代理
委員	百田 成雄	大山崎町公民館サークル連絡協議会代表
委員	岸本 勝治	大山崎町長寿会連合会代表
委員	井上 和世	スマイルプレイス代表
委員	堀内 錦治	公募委員
委員	井幡 和幸	公募委員
委員	下田 正義	公募委員
委員	田中 俊裕	公募委員
委員	上田 幸代	大山崎町社会教育委員代表
委員	菱木 智一	京都府 総務部 府有資産活用課長
委員	名和 喜祐	一般財団法人 京都技術サポートセンター 建築課参事

(順不同・敬称略)

大山崎町立中央公民館等施設整備検討会議 会議経過

	日時・開催場所	内 容
第1回会議	平成30年2月14日(水) 午前9時30分～ 【大山崎町立中央公民館 別館3階 大研修室】	○委嘱状の交付 ○会長の選出及び会長職務代理者の指名 ○会議の運営等について ○会議設置に至る経過等について ○公共施設の現状や整備方策の検討等について
第2回会議	平成30年2月28日(水) 午前10時00分～ 【大山崎町立中央公民館 別館3階 大研修室】	○中央公民館等の整備方策の検討について
第3回会議	平成30年3月19日(月) 午後2時00分～ 【大山崎町役場 3階 中会議室】	○中央公民館等の整備方策の検討について
第4回会議	平成30年3月27日(火) 午後2時00分～ 【大山崎町役場 3階 中会議室】	○中央公民館等の整備方策の検討について